

竹林ビジネス産業化プロジェクト

— 竹材供給推進補助金制度（企業版ふるさと納税）のご案内 —

◎ 薩摩川内市の竹林について

鹿児島県は**全国一**の竹林面積（17,907ha）を有し、その中でも薩摩川内市は、**県内一**の竹林面積（2,156ha）を有します。

しかしながら、高齢化や担い手不足等により竹林の管理が行き届かなくなり、里山の環境悪化や鳥獣被害等の原因となる**〃竹害（放置竹林）**が深刻かつ喫緊の課題となっています。

◎ 「薩摩川内市竹バイオマス産業都市構想」とは

薩摩川内市には、市内に**国内唯一**の**〃竹紙**を製造する製紙工場が立地しており、延べ2,000人の地域の伐採者により、年間約2万トンの竹を収集・処理・製品化する既存の仕組み・流れが存在します。

本市では、この仕組み・流れを活用して、**〃地域資源**であり、**〃地域課題**でもある「竹」の有効利用による産業振興や雇用創出等の**地方創生**を目指す具体的な取組を進めています。

■ 本制度の概要

市内居住者、市内事業者、任意の団体等が、市内のチップ工場へパルプ用竹材等を搬入する際、その買取単価への上乗せ助成（3.3円/kg）を行い、**竹の伐採・搬入者及び竹材供給量の増加を促す**ものです。

■ 本制度の目指す効果

- 竹を伐採する山側やそれを素材やエネルギー等に活用する企業側への**雇用の創出・産業活動の活性化**
- **里山の環境改善**（鳥獣被害減少、土砂災害リスク軽減、水源涵養機能の強化、コミュニティ維持・活性化）
- 地域資源、自然素材の活用による**循環型地域**の形成



高齢化や担い手不足等により放置された竹林



タケノコ生産のために整備された竹林



竹由来の新素材「セルロースナノファイバー」

（提供：中越パルプ工業(株)）



稼働中のセルロースナノファイバー商業プラント

（中越パルプ工業(株)川内工場）